

第1章

Chapter 1

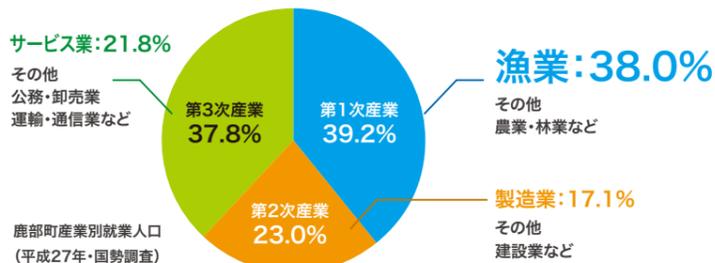
町のなりわい

《鹿部の産業》地域資源を活かした町づくり

鹿部町には古来より海・山・温泉など魅力的な資源が豊富にあります。町政発足以来、それらを活かし産業として発展させる取組を継続的に行ってきました。水産業を基軸とした経済活性化による雇用の創出。そして町の魅力を広く発信するための観光振興など、町民が誇りと生きがいを持って働き、より豊かに暮らせる町づくりを目指しています。



鹿部町民はどんな仕事に就いているの？



水産業を中心とした町の経済活動

鹿部町といえば海の町、すなわち水産業。人口/3,760人。生産から加工まで、かつては住民の半数以上が従事していましたが、家族構成や価値観が多様化した現在は商工業や観光業など、町民の職業は多岐に渡ります。

●男性：1,779人
●女性：1,981人
●世帯：1,619世帯

令和2年国勢調査より

産業連携

町の資源を活かすこと

地元ならではの食文化に目を向け、町の生産力と就業機会を向上させる取組です。漁業・水産加工業・農林業・畜産業など鹿部の食に関わる産業が連携し、商品開発や付加価値向上など新たな取組を進めています。

- 鹿部町A級グルメ
- 鹿部牛のブランド促進
- 山菜・果樹等の栽培

就業支援

町で働くこと

地域産業の担い手を確保するため人材育成から就業支援まで対応しています。事業継承の円滑化や移住者への情報提供など、町内で働く人を応援するための各種機関があります。

- 道立漁業研修所
- 地域就労サポートセンター
- 広域連携事業

魅力発信

町を知ってもらうこと

各種イベントなどとおして鹿部町の魅力を伝え、地域産業への理解を深めていただくための取組を行っています。

- しかべ海と温泉のまつり
- ちょっと暮らし事業
- YouTube「しかべチャンネル」
- ふるさと学習

土地のめぐみに囲まれて。

鹿部町が守り、育み、つなぐもの

漁業

P5-6

海とともに暮らす町

町の経済にとって水産業はもっとも重要な柱となっています。町では港や加工場の整備から後継者の育成まで、長年、地元の産業基盤を支えてきた伝統を未来へつなぐための取組を行っています。



温泉

P7-8

すぐそばに温もり

鹿部町には30箇所以上の泉源があります。世界的にも珍しい間歇泉や足湯は観光名所となり、古くから営まれている温泉旅館も人気です。鹿部の温泉は公共施設や町内のインフラにも利用されており、住みよい町づくりに大いに貢献しています。



食と観光

P9-10

世界に誇る食がある

鹿部といえば「たらこ」を代表格に、新鮮な魚介類が有名ですが、海の幸のほかにも、山菜などの山の幸や畜産業にも力を入れています。町では豊富な自然の恵みを活かした鹿部ならではの食文化を多角的に発信する取組や商品開発を支援しています。



町外からも産業振興の協力を募っています

地域おこし協力隊

マンパワーで地域力の維持・強化

地方都市における人口減少・高齢化は鹿部町も例外ではありません。町では国の地域おこし協力隊制度を使い、町外から人材を積極的に招き、ともに暮らしながら地域産業の応援やPR活動、住民の生活支援など、様々な活動に参加していただいています。

ふるさと納税

離れていても、応援してくれる人がいる

「しかべ」に住んでいないけれど、ふるさとに貢献したいという方々がたくさんいます。ふるさと納税は地域を元気にしたいという想いを寄附金という形で応援していただく制度です。鹿部町の魅力を堪能していただくため、返礼品にも趣向を凝らしています。